

令和2年1月27日

令和1年度 地域貢献活動支援報告書

地域イノベーション推進機構長 殿

所 属 地域人材教育開発機構
氏 名 松岡 知津子

活動テーマ	地域日本語ボランティア教師用教材の開発
実施期間	令和1年4月1日～令和2年3月31日
活動内容	<p>(1) 具体的な活動実施内容 津市における日本語ボランティア養成講座を行い、これまでの研究で得られた結果をもとにボランティア教師初心者のための試作版教材を作成した。それをを用いて実際にボランティア講座を行い、試作版の改善点を明らかにした。また、県内の日本語ボランティア団体の会議（みにネット）で解説版・サンプル問題集の必要性が明らかになったことから、解説版・サンプル問題集についての調査を開始した。</p> <p>(2) 地域への貢献（地域の発展・活性化への寄与，広がり） 上述の講座の受講生は津市や伊勢市のみならず、伊賀や鳥羽といった他地域でも日本語ボランティアとして活躍している（今後始める者も含まれる）ため、受講したボランティア講師が各地域における外国人への日本語教育に寄与している。受講生からは、「受講前と明らかに教え方が変わった」などの声が聞かれた。</p> <p>(3) 共同実施者との連携状況 津市教育委員会とは、津市で開かれる講座で常に連携を取り、講座の内容や方向性について検討を行った。MIEF 猪狩専門員とは、教材開発とその講座についての具体的な内容についての助言をいただいた。</p> <p>(4) 大学の教育・研究成果のかかわり 本活動は、本学で行われる授業科目としての教育活動とは直接的には関係していないが、本学の留学生に学外での日本語学習の場として、地域ボランティア教室を紹介してきた。 また、研究成果については、教材完成後は、その成果をまとめて日本語教育学会等で研究成果の発表を行っていきたいと考えている。</p> <p>(5) イベント等開催実績（名称，実施場所，参加人数等） 津市における日本語ボランティア養成講座（年20回、13時半～15時半於津センターパレス）では、毎回最少で25人、最多で40人程度の参加者があった。</p> <p>(6) これまでの取組みによって得られた具体的な成果について ボランティア養成講座で基礎を学んだ受講生は、随時地域日本語ボランティアとして地域に暮らす外国人の日本語学習の補助を行うなど、地域外国人の日本語教育に寄与している。また、今年度は、三重方言に関する日本語チラシを作成し、MIEFを通じて配布した。</p>